

第3回

多分野活動領域でつながるための交流学習会

あなたにもできる！暴力防止のためのグローバルな社会貢献

暴力防止のいろいろな試み

ドメスティック・バイオレンス(DV)や虐待、性暴力などの暴力は、グローバルな社会問題です。多分野の人たちとつながり、暴力抑止のアイデアを出し合い、次世代を担う若者と共有し、支援の輪を広げていきましょう。

2018年1月25日(木) 18:30~20:45

会場：日本財団会議室 港区赤坂1丁目2番2号日本財団ビル
アクセス 東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」、東京メトロ南北線・銀座線「溜池山王駅」
東京メトロ丸ノ内線・千代田線「国会議事堂前駅」徒歩5分。
<https://www.nippon-foundation.or.jp/who/about/access/>



Keynote 「暴力の社会的コストとは」

和田 一郎氏
花園大学 社会福祉学部児童福祉学科 准教授

panelist



治部れんげ氏
フリージャーナリスト



武石智香子氏
中央大学商学部教授
中央大学副学長/
国際センター所長



ファシリテーター
西田 陽光氏
(一社)次世代社会研究
機構
代表理事

対象：暴力防止に関心のある方、学生、DV被害支援者など

資料代：1,000円(学割あり)

パネリストのスピーチのあと、参加者とのディスカッションがあります。暴力防止のアイデアを一緒に考え、アクションを起こしましょう！

お問合せ・お申込み先：一般社団法人ウエルク 事務局 (担当/渡辺)

kensyu@werc-women.org / 080-4599-9565

主催：一般社団法人ウエルク 共催：一般社団法人次世代社会研究機構

パネリスト プロフィール

和田 一郎氏 花園大学 社会福祉学部児童福祉学科 准教授

筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。博士(ヒューマン・ケア科学)。社会福祉士、精神保健福祉士。茨城県職員として県庁児童福祉主管課、福祉事務所、児童相談所等に勤務。2013年川井記念賞受賞。2013年度より社会福祉法人恩賜財団母子愛育会日本子ども家庭総合研究所(現愛育研究所)主任研究員を経て、2017年4月より現職。

専門は子ども家庭福祉。地方自治体児童相談所(福祉職)外部採用委員や児童相談所職員の研究支援など児童相談所の支援を行っている。近年は虐待の社会的コストなど、政策立案の基礎資料となるような研究に精力的に実施している。

武石 智香子氏 中央大学 商学部教授 中央大学副学長/国際センター所長

早稲田大学文学部心理学専攻卒業。1999年ハーバード大学大学院社会学研究科博士課程修了、社会学博士号(Ph.D.)を取得。

(株)三菱総合研究所を経て、2001年中央大学商学部専任講師、2013年から中央大学商学部教授、2014年から中央大学国際センター所長、中央大学副学長として国際連携を担当。

専門は知識社会学、文化社会学。論文に、「職場環境要因と職場いじめの傾向、および組織市民行動(OCB)との関連—大学教員・職員を対象としたWHS尺度の適用—」など。

治部 れんげ氏 フリージャーナリスト

一橋大学法学部卒。日経BP社で16年間、経済誌記者。2006~07年、ミシガン大学フルブライト客員研究員。アメリカの共働き夫婦の先進事例を研究。2014年よりフリージャーナリスト。昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員。

日経DUAL、Yahoo!ニュース個人、東洋経済オンライン等に、ダイバーシティ経営、父親の育児参加、女性のエンパワーメントについて執筆。

日本政府主催の国際女性会議WAW!国内アドバイザー。東京都男女平等参画審議会委員。公益財団法人ジョイセフ理事。一般財団法人女性労働協会評議員。著書に『稼ぐ妻 育てる夫』(勁草書房)。2児の母。

ファシリテーター

西田 陽光氏 (一社)次世代社会研究機構 代表理事

1997 ~ 2013年 政策シンクタンク運営委員として、医療提言・教育提言等数々の政策提言と世論形成。日本初の「男性のWLB」提唱により、イクメンブーム牽引。

1998 ~ 2017年 大学生の政策研究による人材育成。

2014~現在 「女性のリベラルアーツ講座」「子育て知事同盟企画」等多数の子育て女性支援企画
さいたま市中小企業支援 CSR 委員。

児童福祉法改正世論形成と法改正により、「子どもの権利」を法律化。



あなたにもできる！
暴力防止のためのグローバルな社会貢献 第1弾
シンポジウムのレポートは、WERC HPまでどうぞ
<http://www.werc-women.org/network/>